

令和4年度若菜会 総会中止のお知らせ

うぐいす坂の桜並木の青葉がかがやく季節になりました。爽やかな風が吹き渡る一方、2年以上経った今でも新型コロナウイルスの感染は終息の兆しが見えない状況になっています。これまでと違った日常を同窓会員の皆さま、いかがおすごでしょうか？

さて、一昨年11月に新生「若菜会」が発足いたしました。設立総会では、同窓会より「若菜会は秋田高校同窓会の支部等同窓会」と位置付けられ、男女共同参画の社会の中で今後活躍していくことを心に誓うスタートをきることができました。

続く令和3年度はコロナ禍のため通常総会の中止を決定。令和4年度こそは開催したく準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない状況を勘案し、やむなく中止することになりました。

当初は、本年度の総会において、予算案や事業計画案を審議していただくことにしておりました。また、講師として中村順子同窓会副会長を迎えての講演を予定しておりました。通常総会は中止となりましたが、若菜会として活動は続けてまいりますので、引き続きご協力ご支援をお願いします。

同窓会入会式

261人が新たに仲間入り

銭谷眞美会長



令和3年度の卒業式は3月3日に行われた。例年3月1日に行われている卒業式であるが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、国立公立大学前期試験を県外で受験した生徒が3日間の自宅待機を経てから卒業式に参加できるようにと、前年同様に日程を変更して行われた。昨年度、生徒1人につき1人となっていた保護者の参加は今回2人までとなり、温かな雰囲気にも包まれながら卒業生261人が学び舎を巣立った。前日には、伊藤奈都子さん（平成8卒）の司会のもと、母校体育館で同窓会入会式が行われた。

初めに銭谷眞美会長が歓迎のあいさつを行い、「秋田高校で過ごした3年間の経験が皆さんの力になってくれる」と新入会員の門出を祝福した。

続いて、秋田魁新報社営業部の木村環さん（平成9卒）が新入会員に激励の言葉を贈った。木村さんは、理系の大学院を修了したのちに魁新報社に入社し、現在は子育てとの両立を図っている自身の歩みに触れながら、「心の中にしっかりと自分をもっていること、そして、自分なりの考え方で柔軟に対応できること。この2つを身に付けていけば、困難に直面した時に強く立ち向かえるのではないかと思います」「秋田高校を巣立つみなさんは将来、いろんな形で社会を支え、世の中を動かす役割を担うはず。迷、重責を背負って、悩むこと、迷

うことがあったら、そういう時から、『社会のために、自分は何ができるか』『自分はどう生きたのか』を一生懸命考えてみてほしいと思います。これからみなさんが踏み出すのは、とても厳しく、でも、温かい社会です。その中で、たくさんの経験を糧に、しごとく、たくましく前に進む人になってください」と、新たな世界に旅立つ新入会員に励ましの言葉を贈った。

その後、銭谷会長から記念品を受け取った新入会員代表の佐々木波音さんが、在学中の同窓会からの支援に感謝を述べた後、着装自由化導入50周年に触れ、「先輩方の強い意志、そして行動力は見習わなければならぬものであり、後輩たちに引き継いでいかなければならないものだ」と強く感じています」と、入会にあたっての決意を述べた。



木村環さん



銭谷会長から新入会員代表へ記念品が贈られた



佐々木波音さん